

## 平成 28 年度大牟田市総合教育会議(第 1 回) 会議録

- ◆ 日 時 平成 28 年 9 月 1 日 (木) 15:30～16:50
- ◆ 場 所 大牟田市役所 3 階 302 会議室
- ◆ 出席者 中尾市長、安田教育長、山本委員、嶋田委員、本山委員、東委員  
教育施策関係部署 (企画総務部) 井田部長、吉田調整監  
(市民協働部) 村上部長、岡田調整監  
(教育委員会事務局) 堤事務局長  
総務課 富安課長、教育みらい創造室 松葉主査、川崎指導主事  
指導室 坂本室長  
事務局 企画総務部総合政策課 中島課長、田中主査、松田

### ◆ 開 会

- ・ 事務局より開催趣旨説明

### ◆ 議 事

#### [報告・連絡]

1. 教育委員会が所管する施策・事業の「主要施策の成果及び基金の運用状況説明書」への掲載の取扱いについて

事務局 今年、総合計画を新たに策定したことにともない、より効率的に総合計画の進捗管理を行っていくことができる行政マネジメントシステムのあり方について見直しを行ったところ。その一環で、教育委員会が所管する施策・事業の成果報告への掲載についても見直しを行った。

これまでは、教育委員会におかれては、毎年「成果報告」と「大牟田の教育」の二つを作成していたが、今回、効率化、省力化の観点から見直しを行い、「大牟田の教育」一本に整理をした。同様に、部局の方針については、「学校教育振興プラン」及び「学校教育振興事業計画」をもって代えることとするが、毎年度の方針の市長への説明や PDCA サイクルの流れについては、その他の市長部局と同様の内容を求めていくこととなる。

委員 二度手間がなくなると考えていいのか。

委員 結局、我々のチェック回数は同じということか。プランも大牟田の教育も何度もチェックしないといけない。それが減れば大賛成だが。

市長 そこは変わらない。

委員 少なくとも事務局の事務的作業が軽減されるならいいこと。

## [自由討議]

教育委員会事務局より、ESD の推進、英語教育の推進、教育みらい創造室の取組の内容について紹介。

その後、市長、教育長、教育委員によるフリートーク。

委員                    まず市長に報告したいことがある。この前のユネスコスクール ESD 研修会で、文科省からお見えになった岡本彩さんが、ご講演の中で大牟田のことをすごく褒めていらっしゃった。全校がユネスコスクールに加盟しているところも珍しいし、加えて、市長が本部長となって、市全体の視点に ESD を取り入れて取り組んでいることは全国的にも珍しく、本当に素晴らしいとおっしゃっていた。国から来られた方から、全国のことを見られた上で、そのように大牟田のことを褒めていただいて、私たちが大牟田の教育を誇りに思う。

市長                    全国的に誇れるということかもしれないが、意外と市民の目には映っていないということがある。そうしたことから、情報発信の手法の戦略化を意識しながら、対外的に情報発信していくことが必要なのだろうと考えている。そういうことで教育みらい創造室の設置にも至ったところ。

委員                    個人的な意見だが、今、社会を担っている私たち大人が持続可能な社会の担い手でないと、これから子どもたちが担いたいと思う社会は残せない。だからこそ、市長にも、ESD の視点を取り入れた大牟田市全体の取組みを考えていただいているのだと思う。これから、学校で ESD を学ぶ子どもたちだけでなく、市全体の取組みになって、大人も大牟田のまちを次の世代につなぎたいと思えるようになっていったらいいと思うし、なっていくだろうと思う。誰かがやるじゃなく、オレがやる、のオレをいっぱい増やしていただければ。

市長                    そのとおり。今後の方向性のところに、ESD 推進本部の機能の発揮とあるが、ESD を進めていこうというのは、むしろ我々大人をどう啓発していくかというところが大きなウエイトを占めなければならない。ただ、子供たちに、一つの先進的な理念の中で、継続して教育を実施していくことで、全体の裾野が広がっていく。あわせて、大人も社会教育サイドからどうアプローチしていくかということ。そこは、なかなか難しい話ではあるが、それを根底に持って常に実施していくこと、折に触れて ESD の考え方を広めていくことが必要だと思う。そういうことを推進本部の中で議論して、それぞれの所管の事業を実施する中で、その考え方を広めていく。あとは、各部長にどれだけ理解していただくか。

委員                   この前できあがった水道ビジョンでも、ESD が盛り込まれていたし、その審議会でも ESD についての説明があった。ビジョンの中に ESD が入っただけではなくて、審議会の中で、みんながこれなら必要と言って入っていくので、そういったことがこれから増えていったらいいと思う。

委員                   先日の「ユネスコスクール・ESD 研修会」で、奈良教育大の中澤准教授が、ESD の基本的な概念ということでお話になった。ESD が求められる背景として、まず環境問題がある。気候変動、資源の枯渇、生物多様性、自然の共生社会。2 番目として経済の問題。多国籍企業、ヘッジファンド、グローバルイゼーション。そして、3 番目に社会の問題。貧困、難民、宗教対立、格差などの問題。こういう問題を ESD の中で学んでいく。そして、そういう問題が将来起きないようにする子どもを育てていく。だから、今すぐの問題だけでなく、継続性が必要。

                          これまで大牟田市が全市を上げて ESD に取り組んで、皆様方からがんばれというご支援をいただいているわけだから、継続性が必要なので、これからもバックアップ体制を引き続きお願いしたい。

                          国連の 196 か国中、過去 70 年間で戦争・紛争がなかったところは、8 か国しかない。その中に日本も含まれている。大事にしていけないといけない。

市長                   学んだ子どもたちが 40 代、50 代という社会の中堅からもう少し上を担っていってもらえるくらいになって、やっと一つの形になるくらいだろうと思う。少なくとも 50 年くらい続けたいといけない。こうした教育の問題というのは、きちんと物事を捉えて、しっかりと議論していくという形で進めていくから、そういう委員の皆さんがお思いになっていることが次に続いていき、教育の基本的な理念が引き継がれていく。何十年も先のことを言うのはなかなか難しいが、私はできると思う。

委員                   ESD に関しては、大牟田の環境、文化、福祉を、各年代に合わせて、きちんと上に上に積み重ねた教育をしてもらっており、感謝している。

                          また、自分たちから発信を行うのに、教科書で学ぶ知識をプレゼンに活かしている。ESD だけではなく基礎的な知識の向上にも役立っている。

                          教育みらい創造室も、子どもたちが行ったことを、FM たんとや有明新報、広報おおむたなどを使って広く発信しており、それが子どもの励みになる。子どもたちは ESD ということは意識しないかもしれないが、社会に出たときに、自分たちが学んだことは他の都道府県にひけをとらない、すごいことを学んでいたんだということに気づくと思う。そこから、郷土の誇りということも出てくる。それを身近で見させてもらってとてもうれしく思っている。

市長 子どもが ESD を意識するしないは別として、まわりの大人が意識していただくとしてもいい。

学習を通して、自分にできることは、ということを常に考える態度が自然と身についてくれるというのが一番。

委員 それにワクワクした気持ちをもってやってほしいと思う。僕だったらこうする、私だったらこうすると思いつつ、ワクワク感を持続できるのが ESD じゃないかなと思う。

委員 子どもたちが自らやっている。先生方が教科書を見ながら知識として与えるのももちろんだが、ESD は子供たちが自主性でやるから、いろんなところに話が展開していくのがいい。それと英語はコミュニケーション力ということでリンクしている。

市長 それがアクティブラーニングということになる。

委員 そんな子どもたちの姿を、学校訪問でも垣間見ることができる。リーダーミーティングでもそういう姿を見た。

委員 手を挙げて発表するなんて、私たちの時代にはなかったこと。驚いた。

委員 みんなが積極的で頼もしい。

委員 中学生が小学生を思いやるような発言をする。議事進行にいたっても、小学生に分かるような言葉を使ってくれたり、縦のつながりが深まっていると感じる。

委員 特別支援学校の子も一生懸命発表する。

委員 英語教育は、国の考え方では、次の学習指導要領の改訂からきちんと入ってくることになっているようだが。大牟田の子どもたちは、大牟田弁と同じくらい英語が身につけているのでは。押しつけ感ではなく、楽しんで入っているのがすごい。

市長 大牟田は平成 13 年から。最初の頃は、教え方や発音など、小学校の先生が英語教育を必ずしもちゃんと勉強してこられているわけではないから、苦労があったようだ。

委員 以前、明治小で発表があったときに、全国から視察に来られていた。島

根県からもバス一台で来られていて、びっくりした。

委員 ESD と同じく、英語教育も大牟田が誇れるもの。

市長 英語教育は、資料にもあったようにいろいろな事業をしている。少しでも達成感をもちながら身につけてもらえるように。先生方はずいぶんご苦労されるだろうが。

教育長 30代、40代の先生は、英語を教える前提で小学校の先生にはなっていないが、今は大学の教育課程の中に入っていて、ずいぶん変わっている。英語は専門ではないけれども、小学校の学級担任は英語嫌いをつくらないこと。もっと英語をしゃべりたいとか、そういうモチベーションを上げるということ。やっぱり、学級担任じゃないと一人ひとりの実態に応じたものはできない。ある意味では、小学校の担任の先生が子どもと英語をつなぐとか、子どもと ALT をつなぐとか、そういう役割の中でやっていく必要があると思う。大牟田の方式というのが、全国の学習指導要領の基になっている。そういう意味では、教えることで、先生たちの指導力も向上する。子どもたちと一緒に勉強していくということが大事だと思う。中学校は教科なので、また違うが。小学校でそうやってモチベーションを高めて中学校へ進んでいく。

委員 私の会社も田舎にあるのに、輸出するのに英語が必要。

市長 貿易関係の商社に勤めるとかじゃなくてもやっぱり英語が要る。

委員 外国の人と接する機会を多くするということが必要なんだろう。

教育長 今回、小学校のモデル校は、外国との交流ということをメインにやっている。あくまでも英語はコミュニケーションツール。大牟田のことを英語で伝えることをやっている。中学校ではイングリッシュセミナーで、大牟田の宝物 MAP の 英語版をつくっている。

委員 ESD というのは全く聞いたこともなかった。こういう略語は一般市民に入っていない。市民にわかりやすい、スッと入ってくるようなものにしないとイケない。とても発展性や広がりがあるので、教育分野だけでなく、環境、福祉、防災、いろんな分野で共通した考え方。もっとアピールして、もっと広げていくのが大切だと思う。教育というのは、将来を考えていくもの。この ESD というのは一本筋の通った教育方針として、小・中・高と方向性を持たせてあげるという意味でいいものだと思う。ぜひいろんな分野に広げていってほしいと思う。

英語教育に関しては、日本人はシャイ。知識はあってもしゃべれない。文法、長文読解とかから入っていたので、そこで英語嫌いになっていた。

これからの日本では、やはり子どもたちが将来どういう道に進んでも英語が必要だろうし、英語に苦手意識がないと選択肢がもっと広がる。小学生の頃から英語に親しむことは大事。

何回か英語の授業を見に行っただが、買い物の授業で、片言の英語をつかって買い物する。使ってみるともっと興味出る。しかし、そこで教える先生が2人くらいしかいないと、子どもたちだけになって会話が續かない。せつかくいい取組みが活かせていない。文法とか発音とか言っているとどうしても英語が嫌いになってしまう。イントネーションがどうこうより、言ったことが通じて目的を達成できる、そういった達成感を得ることが大事。そういう意味でも、手の空いている先生はなかなかいないだろうから、片言の英語をしゃべれるくらいでもいいだろうから、ボランティアを入れては。この取組みがとてもいいと思っただけに、人手不足は残念。

市長

大牟田は全校ユネスコスクールに加盟しているが、よそにはあまりない。よそは学校ごとだから、転校したり、小学から中学に進学したりしたら違うかもしれない。大牟田は、一環して9年間、同じ指導方針となる。具体的な中身は学校によって異なるかもしれないが。その意味では、広がり・発展性を一環して学ぶ機会となっていて、全校加盟はいい考えだろうと思う。

委員

市長、さっそく出前授業に行っていてありがとうございます。

市長

6校行ったかな。

委員

子どもたちも生の市長とお会いできて、お話を聴ける機会もなかなかないし、すごくいい経験だと思う。これからも続けてほしい。この前、給食試食会のときをお願いしたが、よかったらぜひ同じ釜の飯を子どもたちと食べて帰っていただきたい。

総合教育会議はとても大事な場だと思うので、年1回開催というのが引っ掛かった。学校振興プランなどは教育委員会で話し合いをするが、教育の大綱全体の進捗状況など、直接お話できる機会はなかなかないので、お時間にゆとりがあれば年3回くらいできればいい。このように市長と直接話す機会があるととてもいい。

委員

川崎先生は、いろんな催しのときによく取材に来られている。情報発信は大事。

市長

やっていることを正当に理解、評価してもらいたい。

委員

市長はじめ大牟田市全体でバックアップしていただけていると思うと頑張らなくてはと思う。

以上（16：50）終了